

文芸・演劇(戯曲)

而立書房 10月新刊のご案内(委託受注〆切10/10)

10月下旬発売予定

貴店番線印

戯曲 福島三部作

1961年：夜に昇る太陽

1986年：メビウスの輪

2011年：語られたがる言葉たち

DULL-COLORED POP主宰

谷 賢一

四六判上製336頁 本体予価¥2000+税 ISBN978-4-88059-416-3 C0074

ポップで
ロックで
文学的!?

冊

戯曲 福島三部作

谷 賢一

1961年…夜に昇る太陽
1986年…メビウスの輪
2011年…語られたがる言葉たち

ISBN978-4-88059-416-3 C0074 予価¥2000 46判上製

而立書房

現代性と文学性をあわせもつ作風で、ファンを増やしてきた劇団 DULL-COLORED POP(ゲルカラード・ポップ、略称ゲルカラ)。その主宰で、福島生まれの谷賢一が、三部作・三世代の家族のドラマとして原発事故の「なぜ?」を演劇にしました。原発誘致を決意する1961年から、震災の起こる2011年まで、50年間にわたる物語。複雑にからみあう政治・経済・地域の問題。

今夏、福島・東京・大阪の3都市で上演され、1万人を超える観客を動員しました。

原発立地自治体の抱える苦悩と欲望が、圧倒的なディテールで描き出される問題作です!

DULL-COLORED POPとは(ホームページより)

2005年、主宰・谷賢一が旗揚げ。日英の大学で学んだ演劇学を基礎に置き、古今東西の演劇的手法を積極的に摂取。「演劇だから何でもできる!」と絶叫しながら、「演劇でしかできないこと」を追求し続ける純粋演劇集団。

DULL-COLORED POP3つの誓い:

1. 純粋演劇

演劇至上主義に基づき、純粋に演劇的な純粋演劇を作り続ける。

2. 研究・伝播・接続

書物や実地に学んで得た知識・技術を広く伝え、仲間を増やす。

3. 観客関係の再検討

演る側/観る側という旧来の観客との関係を見直し、「体験としての演劇」を創出する。

谷 賢一 (たに・けんいち)

1982年福島県生まれ、千葉県育ち。明治大学演劇学専攻。在学中にイギリス留学し、ケント大学演劇学科に学ぶ。その後、劇団「DULL-COLORED POP」を旗揚げ。文学性や社会性の強いテーマをポップに表現する。

2013年、海外戯曲『最後の精神分析 フロイトVSルイス』の翻訳・演出で第6回小田島雄志翻訳戯曲賞、文化庁芸術祭優秀賞を受賞。

著書に『従軍中のヴィトゲンシュタイン(略)』(工作舎、2018年)。

ご注文は 而立書房 まで

FAX 03-3292-8782

<http://www.jiritsushobo.co.jp>